

# 平成21年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成20年8月1日

上場取引所 JQ

上場会社名 ホリイフードサービス株式会社  
 コード番号 3077 URL <http://www.horiifood.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯田 益弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 根本 輝昌  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

TEL 029-233-5825

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	1,455	—	61	—	61	—	29	—
20年3月期第1四半期	1,349	—	83	—	65	—	35	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	10.30	—
20年3月期第1四半期	12.82	—

(注) 四半期財務情報の開示は、平成20年3月期第1四半期から実施しているため、平成20年3月期第1四半期増減率については記載していません。

### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	3,322	—	2,203	—	66.3	—	777.20	—
20年3月期	3,161	—	2,202	—	69.7	—	776.96	—

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 2,203百万円 20年3月期 2,202百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
第2四半期累計期間	3,009	—	180	—	180	—	95	—	33.68	—
通期	6,130	5.2	455	10.4	454	15.2	241	82.1	85.05	—

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 2,835,000株 20年3月期 2,835,000株
- ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 一株 20年3月期 一株
- ③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第1四半期 2,835,000株 20年3月期第1四半期 2,778,956株

### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

2. 上記に記載した業績予想などの将来に関する記述については、本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づき、合理的であると判断する一定の前提に基づいた見通しとなっております。したがって、様々な要因により実際の業績等は上記予想と異なる可能性があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、米国において株式市場の混乱・円高ドル安の進行による景気後退が懸念される状況にあります。また、原油・穀物に代表される商品市況の極端な高騰により原料価格の急激な上昇が企業収益を圧迫し、個人消費においても減退傾向が鮮明となっており、全般的に好材料が少ないなか景気は後退局面に入ろうとしております。

そのような経済環境のもと、当社の属する飲食業界におきましては、物価上昇による節約意識の高まりにより外食を控える傾向にあり、度重なる食への安心・安全を脅かす食品偽装問題も利用動機を減退させる大きな要因であり、販売不振が懸念される状況にあります。

そのような状況のもと、当社は、経営効率のより一層の向上を目指し、当事業年度及び翌事業年度の二事業年度を事業の再構築期間と定め、新規出店による増収効果のみに頼らず、不採算店舗の積極的な閉鎖により利益率の向上を目指した事業改革を進めております。販売戦略としましては「商品力の強化」を目的とした産地にこだわった高品質な食材の使用や季節ごとの各種フェアの開催を通じて、お客様の利用動機の底上げを常に模索しております。また、「人材力の強化」によりお客様に「より快適な食の時間」をご提供できるよう「さすがのサービス」を目標に従業員全員の資質向上に努めております。

当第1四半期の店舗数につきましては、首都圏エリアドミナント化と東北エリアサブドミナント化の一環として基幹店舗である「忍家」業態を埼玉県に2店舗と宮城県に1店舗出店し、既存店舗の活性化を図るため「村さ来」業態4店舗を「益益」業態へ3店舗及び「忍家」業態へ1店舗業態変更し、設備の更新時期を迎えた3店舗の改装を行い、経営効率の向上を目的として業績不振の3店舗を閉鎖しました結果、90店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期の業績は売上高1,455,565千円(前年同期間比105,865千円増)、販売費及び一般管理費については店舗人員配置の拡充等により人件費が増加し974,629千円(前年同期間比95,254千円増)となり営業利益61,447千円(前年同期間比21,655千円減)となりました。経常利益につきましては61,242千円(対前年同期間比4,440千円減)、特別損失に業態変更店舗の設備造作等の廃棄による固定資産除却損3,859千円の計上等により四半期純利益29,204千円(対前年同期間比6,417千円減)となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期における資産の状況は、店舗新設及び業態変更・改装等の設備投資による有形固定資産の増加88,125千円及び投資その他の資産の増加14,312千円等により3,322,219千円(対前事業年度末比160,825千円増)となりました。

負債は、設備資金に対する長短借入金の増加99,349千円及び支給対象期間の経過に伴う賞与引当金の増加26,367千円等により1,118,835千円(対前会計年度末比160,129千円増)となりました。

純資産は当期純利益の計上により29,204千円増加し、期末配当金の支出計上により28,350千円減少し2,203,384千円(対前会計年度末比695千円増)となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

今後の業績予想につきましては、当第1四半期については計画を上回る結果となり好調に推移して参りましたが、物価の上昇に伴う利用動機減退による販売実績の低下及び費用の増加等が計画達成の阻害要因となる恐れがあります。これら懸念材料に対して当社は当初計画どおりに「忍家」業態4店舗及び新業態の「しゃぶしゃぶ三昧 巴」2店舗の出店を実施しつつ、業績不振店舗4店舗を閉鎖し販売実績の向上及び利益率の維持向上を目指してまいります。以上により、平成20年5月14日発表の業績予想に変更はありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示して参ります。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以後に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度度において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

5. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前会計年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	224,683	175,715
売掛金	24,398	25,932
原材料	36,460	34,276
前払費用	73,794	65,166
繰延税金資産	34,688	34,688
その他	4,299	4,136
流動資産合計	398,325	339,915
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,726,669	1,654,819
その他	55,497	39,221
有形固定資産合計	1,782,167	1,694,041
無形固定資産	3,466	3,489
投資その他の資産		
長期貸付金	133,635	129,464
繰延税金資産	43,530	43,422
敷金及び保証金	424,805	404,949
長期預金	472,000	493,000
その他	74,219	63,040
貸倒引当金	△9,930	△9,930
投資その他の資産合計	1,138,261	1,123,948
固定資産合計	2,923,894	2,821,478
資産合計	3,322,219	3,161,394

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前会計年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	145,656	149,443
短期借入金	70,000	—
1年内返済予定の長期借入金	269,057	255,148
未払金	229,140	211,898
未払法人税等	29,276	17,144
賞与引当金	55,997	29,630
店舗閉鎖損失引当金	22,573	32,716
その他	107,050	86,895
流動負債合計	928,752	782,877
固定負債		
長期借入金	186,695	171,254
その他	3,387	4,574
固定負債合計	190,082	175,828
負債合計	1,118,835	958,706
純資産の部		
株主資本		
資本金	292,375	292,375
資本剰余金		
資本準備金	282,375	282,375
資本剰余金合計	282,375	282,375
利益剰余金		
利益準備金	4,500	4,500
その他利益剰余金		
別途積立金	1,000,000	1,000,000
繰越利益剰余金	625,558	624,703
利益剰余金合計	1,630,058	1,629,203
株主資本合計	2,204,808	2,203,953
評価・換算差額等		
その他有価証券評価 差額金	△1,423	△1,265
評価・換算差額等合計	△1,423	△1,265
純資産合計	2,203,384	2,202,688
負債純資産合計	3,322,219	3,161,394

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)	
当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
売上高	1,455,565
売上原価	419,489
売上総利益	1,036,076
販売費及び一般管理費	974,629
営業利益	61,447
業外収益	
受取利息	776
専売料収入	1,129
その他	115
営業外収益合計	2,021
営業外費用	
支払利息	2,057
その他	168
営業外費用合計	2,225
経常利益	61,242
特別損失	
固定資産除却損	3,859
店舗閉鎖損失	300
特別損失合計	4,160
税引前四半期純利益	57,082
法人税、住民税及び事業税	27,878
四半期純利益	29,204

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	57,082
減価償却費	81,392
賞与引当金の増減額(△は減少)	26,367
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△9,563
固定資産除却損	3,859
店舗閉鎖損失	300
受取利息及び受取配当金	△777
支払利息	2,057
売上債権の増減額(△は増加)	1,533
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,184
その他の資産の増減額(△は増加)	△8,766
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,787
未払金の増減額(△は減少)	△10,980
その他の負債の増減額(△は減少)	11,136
その他	400
小計	148,070
利息及び配当金の受取額	55
利息の支払額	△2,043
法人税等の支払額	△13,011
営業活動によるキャッシュ・フロー	133,070
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△89,000
定期預金の払戻による収入	80,000
有形固定資産の取得による支出	△144,177
無形固定資産の取得による支出	△12
投資有価証券の取得による支出	△10,200
建設協力金の増加による支出	△7,000
建設協力金の回収による収入	2,679
敷金及び保証金の差入による支出	△22,912
敷金及び保証金の回収による収入	400
投資活動によるキャッシュ・フロー	△190,222
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	70,000
長期借入れによる収入	100,000
長期借入金返済による支出	△70,650
配当金の支払額	△23,230
財務活動によるキャッシュ・フロー	76,119
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	18,967
現金及び現金同等物の期首残高	145,715
現金及び現金同等物の四半期末残高	164,683

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし

「参考資料」

(要約) 前第1四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
I 売上高	1,349,700
II 売上原価	387,223
売上総利益	962,477
III 販売費及び一般管理費	879,374
営業利益	83,102
IV 営業外収益	2,855
V 営業外費用	20,274
経常利益	65,683
VI 特別利益	—
VII 特別損失	1,982
税引前四半期当期純利益	63,701
法人税、住民税及び事業税	20,715
法人税等調整額	7,364
四半期当期純利益	35,621

(要約) 前第1四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期当期純利益	63,701
減価償却費	79,245
賞与引当金の増加額	26,499
店舗閉鎖損失引当金の減少額	△6,319
上場関連費用	8,207
固定資産売却益	△56
店舗閉鎖損失	1,777
受取利息及び受取配当金	△856
支払利息	2,210
売上債権の減少額	998
棚卸資産の増加額	△2,295
前払費用の増加額	△12,264
長期前払費用の増加額	△2,436
その他資産の増加額	△277
仕入債務の増加額	9,450
未払金の減少額	△29,017
未払事業税の増加額	2,890
未払消費税等の減少額	△9,118
未払費用の増加額	5,983
預り金の増加額	4,190
長期前受収益の減少額	△1,186
その他負債の減少額	△75
その他	393
小計	141,644
利息及び配当金の受取額	226
利息の支払額	△1,920
法人税等の支払額	△174,112
営業活動によるキャッシュ・フロー	△34,162

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金等の預入による支出	△38,000
定期預金等の払戻による収入	133,508
有形固定資産の取得による支出	△274,315
有形固定資産の売却による収入	1,372
無形固定資産の取得による支出	△132
建設協力金の増加による支出	△8,200
建設協力金の回収による収入	2,358
敷金及び保証金の差入による支出	△42,217
敷金及び保証金の回収による収入	122
投資活動によるキャッシュ・フロー	△225,502
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入による収入	200,000
長期借入金の返済による支出	△64,703
株式の発行による収入	297,042
配当金の支払額	△15,210
財務活動によるキャッシュ・フロー	417,129
IV 現金及び現金同等物の増減額	157,464
V 現金及び現金同等物の期首残高	90,854
VI 現金及び現金同等物の期末残高	248,318

6. その他の情報

仕入及び販売の状況

(1) 仕入実績

当第1四半期会計期間における仕入実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

業態の名称		当第1四半期会計期間 (平成20年4月1日から 平成20年6月30日まで)
		金額(千円)
オリジナル部門	忍家	135,683
	くいどころBAR	14,190
	かいらく	3,916
	月の詩	4,451
	小計	158,241
フランチャイズ部門	村さ来	12,656
	益益	31,104
	大阪王将	5,979
	小計	49,739
東北・北関東事業部計		207,981
オリジナル部門	忍家	155,882
フランチャイズ部門	村さ来	13,674
	益益	33,104
	大阪王将	4,146
	はなまるうどん	6,906
	小計	57,832
首都圏・北関東事業部計		213,714
合計		421,696

(注) 1 金額は仕入価格によっております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

当第1四半期会計期間における販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

業態の名称		当第1四半期会計期間 (平成20年4月1日から 平成20年6月30日まで)
		金額(千円)
オリジナル部門	忍家	475,270
	くいどころBAR	47,363
	かいらく	12,457
	月の詩	16,467
	小計	551,557
フランチャイズ部門	村さ来	45,341
	益益	95,043
	大阪王将	17,363
	小計	157,747
東北・北関東事業部計		709,305
オリジナル部門	忍家	563,616
フランチャイズ部門	村さ来	45,072
	益益	105,771
	大阪王将	11,338
	はなまるうどん	20,460
	小計	182,644
首都圏・北関東事業部計		746,260
合計		1,455,565

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。